

# 判例的対応系としての絵画パタン対応的システムについて

(Prolog的, KRIP/Lの対応系を底した, 情動的感性対応系への展開)

3 C-2

横田 誠 小出 昌弘  
電気通信大学

## 1. ま え が き

人間の機能に近似した感性対応, 特に情動的感性対応の, 成分システムとして, 市場交渉の系がある。今回は, ネガチヴな市場的系である訴訟的, あるいは医療的系を考え, これにかかわる記憶的系に, 判例的系を考えた。加えて, 言語的系と相補的關係にある絵画的パタンの判例的系へのアプローチをした。一般に, 従来は, 主として, 言語的な約束空間の上で, 種々の問題空間に対応して来た。今回は言語的なエグザクトシケナル系と相補的關係にある絵画的フリー (ウィル) シケナル系に重点着目してゆく。特に, 近来, 人間に関した, ほとんどの分業分野に対応する中核のシステムとして, 電気的線路, 回路のシステムがかかわり, その進化の過程上にある。

ここで, 個体として, 集団としての人間の感性と呼ばれるものに近似したもので, 与えられた事態を感受, 判別, 分類等をする。それは, 広くは, 景気現象 (市場的機能システム) の要因として, 相対的救済系としての, 医農系や, 社会制度デザインに関係する, 訴訟的対応システム等にかかわる。今回は, 訴訟的対応システムにおける判例的対応系に, 絵画的パタンの要素を持ち込む, その基礎系について考える。

## 2. 情動的感性対応系

人間と, 人工システムが, 情動的感性をもつとして考える。この場合特に, その人工システムは, 基本的には, 電気系の線路, 回路システムであり, いわゆる伝送工学の体系下にある。しかしこれが人間の感性に近似されていく過程で, 人間の生物的感性や, 心理的感性との対応展開には, 従来の複素関数論を底にした伝送工学における線路と回路の概念を, より一般化する必要がある。これが伝子工学系である。この系の基礎機能として, 「伝える」能力がある。まず, 図1 a) にあるような, 伝送工学段階での通信用変成器のような整合系が必要である。これが, 生物的伝送系を経て, 人間の情動的感性にかかわる系として, b) 図にあるような意思伝達系としての仲介系が必要になる。更に, 人間の内 (生物的, 心理的), 外の (集団機能としての) 市場的場における, 意思決定への支援要素系として, 今回も, 判例的系を考えると, システムの (耳目のような) 外皮系のような比較的初段階系に, 正規化系を考える。c) 図には問題系 (事件の実態) と, そのパタン化系との両方か

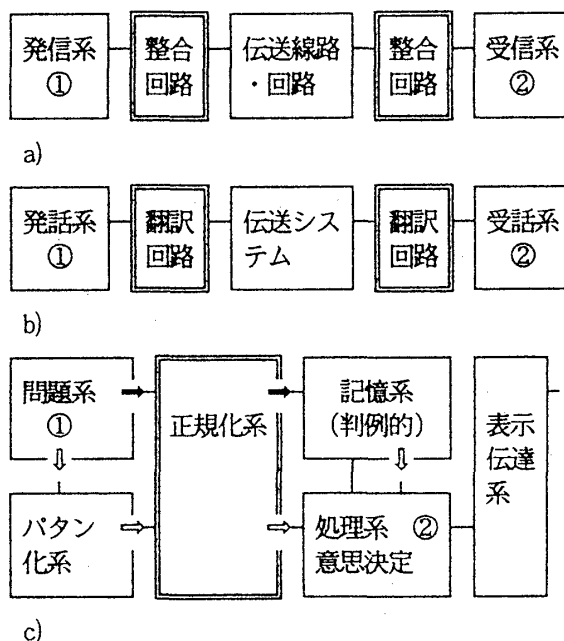


図1. 整合, 正規化系

ら正規化系に入り, つづいて, 記憶系に直接, 又意思決定的処理系を通して入る, という展開系が示されている。

## 3. 判例的対応系

判例的対応というのは, 似たような問題系に遭遇したとき, 約束系に従いながら, 利用可能な判断例を参考にして, その場の状況に応じて, 弾力的に, 生きた意思決定をすることとする。人工システムのハード系と, そのソフト系の進化の現段階での, 例えれば, プロログ等の言語空間上で, 民法等の事件に対する訴訟的系に, 判例援用が試みられている。

我々は, 数理伝送回路における, 正規化系の関連から二つの極限的系を考えている。一つは, 民法90条でいうところの, いわゆる「公序良俗」的に従う系, もう一つは, 回路の機能消滅 (ここにも, 任意の端子に関して, 短絡的と開放の二つの場合があるが) に関連して, 極刑系, 特に刑法的 (199, 241条; 108, 119条; 126, 127条の系) である。

人工システムの進化による, 集団的生活の質の規模が拡大して, 各分業系が互いに結合を密にし, そして, 各分野のより本質的な特性が, 問われて来て, 更に又, これが, 人工システムの進化に反射して影響を与えている。

ここで, 約束的系や, 判例的系も進化しつつあるので, 良識系という, 判例的系の, ある意味での極限系を吟味, 整備する必要を感じる。

On Image-Patterns for the Decision Systems by  
Judicial Precedental  
Makoto YOKOTA, Masahiro, KOIDE,  
The University of Electro-Communications

4. 事態様相のパタン化

先ず【関係のパタン表示】から、

1) 基礎系としてのN4系数理回路系の立場からすれば、4点回路網N4が、全ての系の、基礎関係系である。4点が6線で結合されていること(又、点・線インシデンス系として)に関しては、一つであるが、これを図示するとき、その目的、背景等によって、表現が異なる。数理・物理回路系としては、普通、スターデルタ星環重合型と、ダブルヘリックス格子型(ラチス)が引き合いにされる。図3、図5にそれぞれの表現のN4を示した。

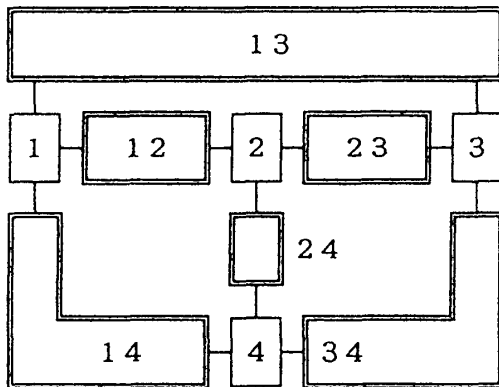
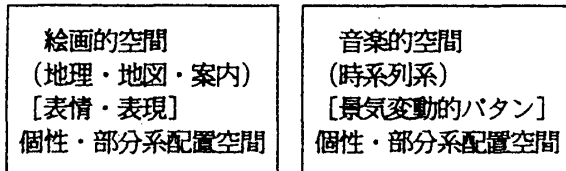


図3. (T・II)型N4

2) 事態の一般化表現系としての、景気変動パタン系  
景気変動パタンの生成は、システム内の市場交渉の場での意思決定による。ネガティブ対応市場系を例に考えると、それは間接的な訴訟場系であり、そこで意思決定するのに、判例的な内外の記憶系を援用する。図3における点・線インシデンスが、それ等の集合え、又図4にある情報の感性パタンえと展開される



a) 絵画的パタン系      b) 時系列パタン系

図4. 情報の感性パタン系

5. 判例的系としての絵画的パタン系

従来、判例は文章系シーケンシャルであるが、訴訟場に限らず、判断、意思決定遂行の目的には、不十分で、又、代行の人工システムの特性上からも、地図的場に限らず、判断、意思決定遂行の目的には、不十分で、又、代行の人工システムの特性上からも、地図的、案内、説明図のような、絵画的パタンの援用が必要

【文献】

- 1) 横田 誠, 他: " (刑事) 訴訟的対応システムに於ける良識的判斷エキスパートシステムについて" 電子情報学会春大会, 1996, 3,
- 2) 横田 誠, 他: " 感性対応系の部分系としての情報の災厄発生系と、保険的対応系" 電子情報学会春大会, 1995, 3,
- 3) 横田 誠, 他: " レモンの原理系としての、市場交渉的回路システムの基礎系・" 情報処理学会秋大会, 1994, 9,
- 4) Arrow, K. J.: "Alternative approaches to the theory of choice in risk-taking situations" Econom., 1951,
- 5) McKenna, C. J.: "The Economics of Uncertainty", 1986,

となる。「生きている」個体あるいは集団が、図5のようにかかり合っているとする(二重ワク部分は訴訟場等の間接処理系)。図6は、事件の時系列推移を、図7は、与えられた地理空間上の、当事者配置関係、事件の発生前後の推移を、N4空間上で例示したものである。

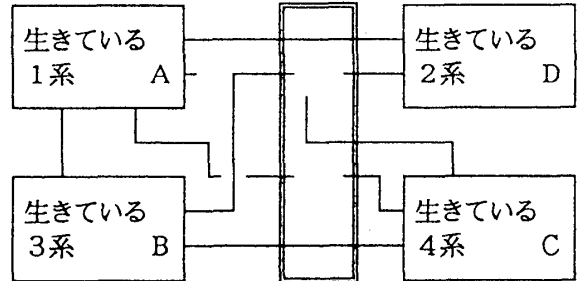


図5. ダブルヘリックス格子型(ラチス)N4表現の「生きている」ものどうしの関係図示

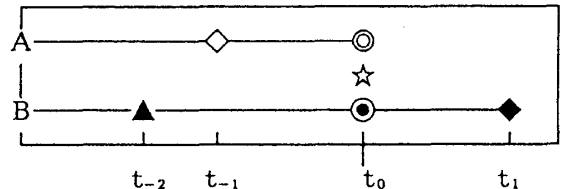
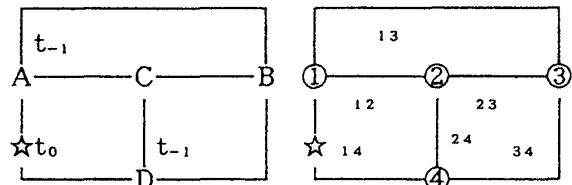


図6. 時系列事態(当事者A, B; 事件発生☆)



a) 地図空間上の推移      b) N4上の推移

図7. 地図空間上の事態推移

6. むすび

今回は、人間の情報の感性対応のシステムの内、市場交渉的部分系について、間接意思決定的系として、訴訟場的システムを考えた。なお、分類等の判例について、専門家的エキスパート系への援用システムとして、判例的システムを考えた。それ等は、従来は、もっぱら言語的シーケンシャル系によってなされたのであるが、人工的システム化にからんで、広くはマンダラ的に、あるいはウィトゲンシュタインの絵的論理系と関連して、絵画的要素を取り入れた、対応系を考えた。これは、電流回路系や、分定数回路系は勿論、意識対応の回路系として、例えれば、交通事故的事案に対応させるに、図面的説明が不可欠となることによる。